

3 年	国語	「れいの書かれ方に気をつけて読み、 それをいかして書こう」 13 時間	概 要	学習ナビ・振り返りカード ワークシート、ヒントカード	適 ○
手 立 て	①個別最適な学びのためのワークシート 書くための知識・技能習得のため、ワークシートを使用して読む力を付ける。 ・「初め」「中」「終わり」の段落構成 ・工夫の説明している文章、つなぎ言葉（色鉛筆で色付け） ・写真の並べ替え作業（文章の順番を意識） ②ヒントカード 特に気付いてほしいものに絞って3つ程度用意し、選択できるようにする。 1. つなぎ言葉に注目させる 2. 段落の冒頭に結論がある点に注目させる 3. 提示するものの順番に注目させる ③ICT の活用 『すがたをかえる食べ物事典』を作成する際に図書館の書籍を20冊程度準備する。また、タブレットを活用して調べ学習を行う。 ④振り返り 「学習ナビ」に振り返り欄を入れ、学習形態について、調べて分かったことについて振り返る。授業の終わりに毎回振り返りを書き、児童本人が分かったことを積み重ねて成長できたことを実感できるようにする。 ⑤交流の仕方の工夫 一人、ペア、グループなど、学習の理解度により自分で学習形態を変えて学習する。その際、目的意識をもって相手を選ぶことができるように掲示物を工夫する。中学年部会では、交流する相手を選ぶことでどのような変容があるかをイラスト化し、分かりやすく示すことを意識した。これにより児童が学び方の取捨選択を視覚的にも考えやすくなるようにした。 ⑥深い学びや考えの伝え方の工夫 自分の考えと友達の考えを比べたり、考えをつないだり、問い返したりすることで、自分の考えを深めていくことができるようにした。			児 童 の 様 子	・ワークシートを活用することで、段落構成の「初め」「中」「終わり」を意識することができた。必要な言葉に色分けし、そのことにより、読みやすい文章にするために必要な言葉や文章を見付けていた。 ・文章から工夫を読み取れない児童は、すぐにヒントカードを見に行き、答えに辿り着いていた。文章から読み取っている児童も、確認のためにヒントカードを見ていた。 ・書籍とタブレットを選択して、調べ学習をしてまとめていた。  ・毎回自分で振り返ってから意見を交流したところ、友達の意見を聞いて考え方を知り、振り返り方が分かった児童が増えた。 ・仲の良い友達と一緒に学習しようと声掛けをしていた児童が多かった。一人で集中して学習したい児童もいた。最初は友達と学習していたが、途中から一人で調べ学習をする児童もいた。 ・友達と一緒に調べたり考えたりする中で、いろいろな友達の考えを聞き、自分の考えとの違いに気付くことができていた。自分の考えを整理したり、友達にすぐに相談したりして、児童が他と高め合って学習することができていた。

	⑦必要感の生まれるゴールの設定 最終ゴールを意識させることで、目的意識をもって取り組めるようにした。児童が作成した食べ物事典等をまとめ、完成した『3年3組のすがたをかえる食べ物事典』を学校図書館へ展示して校内の誰もがみられるようにする。	・誰かに見てほしいという思いで意欲的に文章の工夫を考えて文章作りをしていた。低学年が読むことを想定して、漢字に読み仮名を書く児童もいた。
成果	・ヒントカードの活用は、児童の思考のきっかけや深まりにつながった。 ・自分で学習形態を選択することにより、調べ学習に意欲的に取り組んでいた。	課題 ・学習形態を選択する際に、どうしても仲良しの友達を選択しがちで、支援が必要な児童同士で調べ学習をしているために理解の深まりにつながっていない様子が見られた。学習が得意な友達と一緒に学習したり、意見を聞いてみたりするよう、声掛けが必要だと感じた。

